



第16号
平成18年10月6日

みなさま、こんにちは。札幌市観光企画課の屋中です。札幌は10月だというのに、日中は暖かい日が続いています。そうは言っても秋です。藻岩山や定山溪では、市内中心部よりもいち早く、木の葉が鮮やかに色づいてきました。今月は秋のお楽しみ、冬のイベント情報第一弾と盛りだくさんの特集です。

☆☆今月のトピックス☆☆

- 1 今年も帰ってきた サケが豊平川に！
- 2 札幌紅葉ハイク
- 3 藻岩山夜景キャッチコピー決定☆
- 4 定山溪かっぱバス
- 5 雪まつり特集第1弾
- 6 2007年 FISノルディックスキー世界選手権札幌大会 まで、あと4カ月！！
- 7 ようこそさっぽろ10月の特集

1 今年も帰ってきた サケが豊平川に！

札幌市内には市街地を横切るように『豊平川』が流れています。日本で3番目に長い石狩川の支流であるこの川は、「サッポロ」の地名の語源となっているとも言われており、札幌市民が使う水道水のほとんどをこの川からまかなう「札幌の水がめ」としての役割を果たしています。またそれだけでなく、夏には花火大会の会場となるなど、札幌市民にとって非常に親しみのある川です。

このように市民に親しまれる豊平川ですが、さらに重要な愛される理由があります。それはサケが帰ってくる川であることです。市街地の中心部を流れる川で、サケが帰るほどきれいな川は、他にはまずないのではないのでしょうか。



サケが描かれた豊平川の表示看板

今回は、深まる秋、サケの美味しい、いや、遡上の季節ということで、豊平川のサケとこのそのサケの生態などを紹介する『札幌市豊平川さけ科学館』について特集いたします。

豊平川は古くから多くのサケが帰る川でした。しかし、戦後の札幌市の発展とともに川の水が汚されていき、1960年代にはサケの姿がなくなりましたが、札幌市民による「カムバックサーモン運動」によって、再び1980年代にサケが戻りました。

現在でももちろん、この季節になると豊平川にサケが遡上しており、都心から車で10分も離れていない東橋や水穂大橋付近は、サケにとっての産卵場所となっています。サケが川底と同じ色なので、少し見つけづらいかもしれませんが、橋の上からでもサケの様子が見られます。



豊平川を上るサケ



水穂大橋

都心でありながら豊かな自然が残っている、こんな札幌を象徴する豊平川のサケの遡上。この季節に札幌に来られる方には、ガイドブックには載っていないマル秘スポットとしてぜひおすすめいたします。

サケを実際に見ると、さらにサケについて知りたい、と思うはず。そんな方は、『札幌市豊平川さけ科学館』に足を運んでいただければいかがでしょうか。特定の魚を取り上げた珍しいこの科学館は、南区の真駒内公園(豊平川とその支流真駒内川との合流点あたり)にあり、近くには1972年札幌冬季オリンピックの舞台となった真駒内アイスアリーナや屋外競技場があります。



札幌市豊平川さけ科学館

まず、科学館本館の館内に入ると、展示ホールがあり、サケの産卵の様子や、サケの一生をまとめたものなどが展示されています。なかでも、オスとメスが自分の命を削りながら子孫を残そうと懸命に産卵する姿を、サケの剥製を使って鮮明に再現した展示は、そのサケの表情といい動き方といい、とても衝撃的にその生命力が伝わってきます。



このほかにも、サケが豊平川に帰ってくる様子や、市民の「カムバックサーモン運動」の紹介などが映像で紹介されているコーナーもあり、懸命に生きるサケとともにそれを守ろうとする人々の努力が、心に響きます。

そして、人工的に採卵受精をする「採卵ふ化室」もあり、作業の様子は実際にガラス越しで見学することができます。これは、サケの体調などによって頃合を見計らって行われるため、運がよければ見られるということですが、残念ながらこの日は見ることはできませんでした。これから11月にかけてはこの様子を見られる確率が高くなるそうです。

さらに、このサケ科学館で育てられているサケの仲間が、水槽で飼育されている様子を見ることができる「飼育展示室」では、たくさんの種類のかわいらしい稚魚たちの水槽が並び、珍しい白いサケも展示されていました。



飼育展示室



サケの仲間の稚魚

「地下かんさつ室」では、大きく成長したサケの仲間を横から間近に見ることができます。特にこの時期には、海から帰ってきたばかりの体長約70cmものサケと、目をあわせることもでき、その迫力に思わずしばらく見入ってしまいます。



大きく成長したサケ



サケとにらめっこ

本館の外にある「屋外かんさつ池」では、オスとメスのサケ1匹ずつが飼われていて、この季節は実際に卵を産む様子を観察することもできます。夏にはエサやり体験もできるそうです。

このほかにも、札幌周辺に住む身近な水辺の生き物たちを展示した「さかな館」や特別展や実習などを行う「実習館」があります。特にこの「実習館」では、実際に採卵や受精の体験をすることもできます。その受精した卵は大事に育てられ、ふ化した稚魚は春には放流されるそうなので、自分が吹き込んだ新しい命が、数年後に親となってまた帰ってくるということも…。

サケの遡上は、10月～11月が観察シーズンです。豊平川のほかにも、下記で見ることができます。

- ・西区の琴似発寒川(JR札幌駅から小樽方面へ2駅「琴似」下車、徒歩5分の農試公園付近)

<http://web.city.sapporo.jp/photo/0610/salmon2.html>

http://web.city.sapporo.jp/feature/column/04_11_05sake.html

- ・手稲区の星置川(JR札幌駅から小樽方面へ約20分「ほしみ」下車、徒歩3分)

札幌市豊平川さけ科学館(サケの回帰状況がわかります)

<http://www.sapporo-park.or.jp/sake/>

○サッポロピリカコタン～カムイチェブ(鮭)をまるごと食べよう～

今週末10月8日(日)に、サッポロピリカコタン(札幌市アイヌ文化交流センター)では、午前10時から午後4時まで～カムイチェブ(鮭)をまるごと食べよう～というイベントがあります。鮭を使ったアイヌ料理の試食や、鮭の皮でできた靴(チェブケリ)を履く体験もできます。アイヌ民族にとって、魚の中でも最も重要なカムイチェブ(鮭)を通じて、アイヌ文化を感じてみてはいかがでしょうか。

詳しいイベント情報、アクセス等はこちら <http://www.welcome.city.sapporo.jp/pirka/index.html>

2 札幌紅葉ハイク

札幌観光の新たな魅力として、「NPO法人ねおす」が実施する「札幌紅葉ハイク」をご紹介します。

秋が深まり、色づいた木々が一番華やかな色合いを見せる10月に、藻岩山で紅葉ハイキングをしませんか。ネイチャーガイドが紅葉と本物の札幌の姿をご案内します。出発は市内中心部。そこからバスで藻岩山へ。藻岩山で紅葉ハイキングを楽しんだ後は、再びバスで市内中心部へ戻ります。

藻岩山では、まず「山麓の森」を散策します。森の中を歩きながらネイチャーガイドが紅葉のメカニズムなどを分かりやすく解説します。また街の中とは違う静かな雰囲気を楽しんだり、森のティータイムを楽しんだりしながら、ゆっくりと森を感じます。その後はロープウェイで山頂に向かって、紅葉の森を空の上から楽しみましょう。山頂では大都市の風景と紅葉の森を同時に眺めます。藻岩山の貴重さを楽しむ3時間です。



実施日時は、10月14日(土)、21日(土)、22日(日)のそれぞれ9:00～12:00、13:00～16:00の1日2回実施します。参加費は2500円(保険代、ロープウェイ代込み)。定員は各回20名。
参加には申し込みが必要です。

<お問い合わせ・申し込み先> HES友の会 TEL 011-200-5682 FAX 011-200-5166 E-mail:hes@neos.gr.jp

<主催> NPO法人ねおす TEL 011-615-3923 FAX 011-615-3914

<http://www.neos.gr.jp/>

<http://www.neos.gr.jp/npo/kouyou/>

<http://web.city.sapporo.jp/info/0610/moiwayama.html>

3 藻岩山夜景キャッチコピー決定

■藻岩山(もいわやま)の夜景キャッチコピーが決定しました。

「藻岩山(もいわやま)」は、ススキノから、車で約15分に位置する、年間約40万人の方が訪れる札幌を代表する眺望スポットです。

◆藻岩山へのアクセスやロープウェイの運行情報などの基本情報はコチラ

<http://www.sapporo-dc.co.jp/moiwa/index.html>

この藻岩山からの夜景の素晴らしさを多くの方に伝えようと、キャッチコピーのコンテストが行われ(夜景キャッチコピーコンテスト実行委員会主催)、このたび、各賞が決定し最優秀賞は「言葉にしたい夜がある。言葉のいらない夜もある。」に決まりました。

◆各賞などコンテストの詳細はコチラ

<http://www.moiwayama.net/night/index.html>



天然記念物の原始林の向こうに広がる180万都市の夜景はまさに圧巻。

札幌で言葉にしたい夜を過ごしたい方、素敵な二人で言葉のいらない夜を過ごしたい方、ぜひ、お立ち寄り下さい！感動間違いなしの絶景です。

4 定山溪かっぱバス運行

札幌の奥座敷である定山溪温泉において、毎年恒例の「紅葉かっぱバス」が運行されています。定山溪温泉は、北海道でも有数の美しい紅葉が見られるスポットで、毎年紅葉の時期に、定山溪温泉とその周辺の紅葉や溪谷など魅力あるスポットを巡回するバスが運行されています。地域の住民の方々がボランティアガイドとして、バスに同乗していて、定山溪温泉にまつわる面白い話を聞くことができます。定山溪温泉においでの際には、ぜひ乗って定山溪温泉を楽しんでください。



運行期間: 9月23日(土)～10月22日(日)
料金: 募金として100円
お問合せ先: 社団法人定山溪観光協会 011-598-2012

5 さっぽろ雪まつり特集 第一弾

第58回さっぽろ雪まつり

開催日: 平成19年2月6日(火)～12日(月・祝)

開催場所: 大通・さとらんど・すすきの

<http://www.snowfes.com/>

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/snowfestival/index.html>

日本最大の冬のイベント「第58回さっぽろ雪まつり」の開催まであと4か月となりました。「もぎたてさっぽろ」では、これから2月までの毎号、最新の雪まつり情報をお送りいたします。

1 雪まつりポスター完成

第58回さっぽろ雪まつりのポスターが完成しました。今回のポスターは、雪まつりのメインである大雪像をタイトルとからめた大胆なデザインで、バックには180万都市の美しい光を配置し、札幌の街全体で一つの芸術をつくり上げる「さっぽろ雪まつり」を表現しています。



ポスターデザイン

送付希望の方は、さっぽろ雪まつり公式サイト(<http://www.snowfes.com/>)から、メールフォームに下記の必要事項を記載の上、お申込みください。

○ 必要事項 : 送り先の住所・会社名・担当者名・電話番号・必要枚数※

※ 必要枚数が6枚以上の場合には「送料着払い」をお願いいたします。
その際には『着払いOK』ということもあわせてご記載ください。

2 さとらんど情報(ただいま準備中!)

現在、北海道ならではの体験ができる会場として、さまざま事業を検討しています。
前回大人気のチューブのすべり台・氷のすべり台を実施します！各2コース⇒各4コースへ増設



(写真は前回実施の様子)

6 2007年 FISノルディックスキー世界選手権札幌大会まで、あと4カ月！！

2007年2月22日から3月4日までの11日間、FISノルディックスキー世界選手権札幌大会が開催されます。実施競技は、ジャンプ、ノルディックコンバインド(複合)及びクロスカントリーの3競技です。会場は、宮の森ジャンプ競技場、大倉山ジャンプ競技場、札幌ドーム、白旗山競技場で行われます。ヨーロッパではチケットも手に入りにくい、大人気の大会です。今回、アジアでは初の大会で、世界的にも注目を集めています。「もぎたてさっぽろ」では、開催まで情報を配信して行きます。

<http://www.sapporo2007.com/jp/home.html>

<http://web.city.sapporo.jp/nordic/index.html>



大会マスコットキャラクター ノルッキー

7 ようこそさっぽろ10月の特集

「ようこそさっぽろ」

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/>

携帯版「さっぽろフットナビ！」

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/fnv/>



これから全国各地で紅葉が見られるようになりますが、札幌の紅葉は10月中旬から下旬。初雪の平年値は10月27日なので、本州ではなかなか見られない紅葉と初雪の美しいコントラストを楽しむことができます。



- 紅葉と初雪の10月
- 札幌市内の紅葉スポット
- 都市間バスで行く知床
- シヤモ、サケ、ジャガイモ、果樹園 など

○「さっぽろ路地裏ウォーキングパス」試験販売(9/1~11/30)
市電沿線の路地裏マップを持って、一日市電を乗り降りして、札幌市民になりきってみませんか。市内中心部13ホテルにて試験販売中。詳細は下記をご覧ください。

http://www.welcome.city.sapporo.jp/feature/06_09/rojiura.html

○さっぽろアートステージ2006(11/1~11/30)
札幌市の芸術文化月間と位置付け、演劇、ストリートライブ、小中高校生の音楽祭等、文化的事業を集中的に行います。

<http://www.sapporo-artstage.com/>

○第26回さっぽろホワイトイルミネーション(11/17~1/4[大通]、~2/12[駅前通])

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/whiteillumination/index.html>

○ミュンヘンクリスマス市(11/22~12/17)

<http://www.welcome.city.sapporo.jp/munichchristmas/index.html>

初冬を彩るロマンチックなイベントはもうすぐです。

18年度イベントスケジュールの詳細はこちら

<http://www.city.sapporo.jp/keizai/kanko/event/H18event-calendar.html>

○編集後記○

「もぎたてさっぽろ」いかがでしたか？札幌の都心部近くで鮭が見られるとは、本州に住んでいる方も驚かれることと思います。さけ科学館から出発し、一日鮭づくしツアーというもおすすめてです。夕食は石狩鍋でしょうか!?

最後までお読みいただきありがとうございました。

ご意見・ご質問はこちらまで kanko@city.sapporo.jp 次号は11月10日発行予定です。

札幌市観光文化局観光部観光企画課
Tel011-211-2376 Fax011-218-5129
E-mail kanko@city.sapporo.jp
